



**アートスパークホールディングス株式会社**

**2017年12月期 第2四半期**

**決算説明補足資料**

# 目次



## 1.業績ハイライト

1-1.連結損益計算書 . . . . . 2

1-2.連結貸借対照表 . . . . . 3

1-3.事業セグメント別損益の状況 . . . . . 4



## 2.事業セグメント別の概況

2-1.クリエイターサポート事業 . . . . . 5

2-2.UI/UX事業 . . . . . 6



3.今期の主要施策 . . . . . 7

# 1-1.連結損益計算書

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2016年 12月期 第2四半期	2017年 12月期 第2四半期	前年同期比	2016年12月期 通期
売上高	2,256,806	1,722,293	△23.7%	3,835,853
営業利益	457,416	253,830	△44.5%	500,504
経常利益	430,974	243,703	△43.5%	477,045
純利益	368,846	220,958	△40.1%	337,150

## ■業績の概況

- ・売上高：前年同期534,512千円減少

なお、前第2四半期連結累計期間の売上高2,256,806千円につきましては、前第3四半期累計期間に株式を売却した孫会社株式会社エイチアイ関西の売上高275,903千円が含まれております

このため、既存グループ会社の売上高比較では、258,609千円（前年同期比13.1%減）の減少となります

- ・営業利益：前年同期203,585千円減少
- ・経常利益：営業外費用で支払利息、為替差損の合計7,306千円等により243,703千円の経常利益
- ・純利益：税金費用により220,958千円の純利益

## ■トピックス（2017年1月～6月）

- ・ソフトウェアIPを核とした経営に重点、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力

# 1-2. 連結貸借対照表

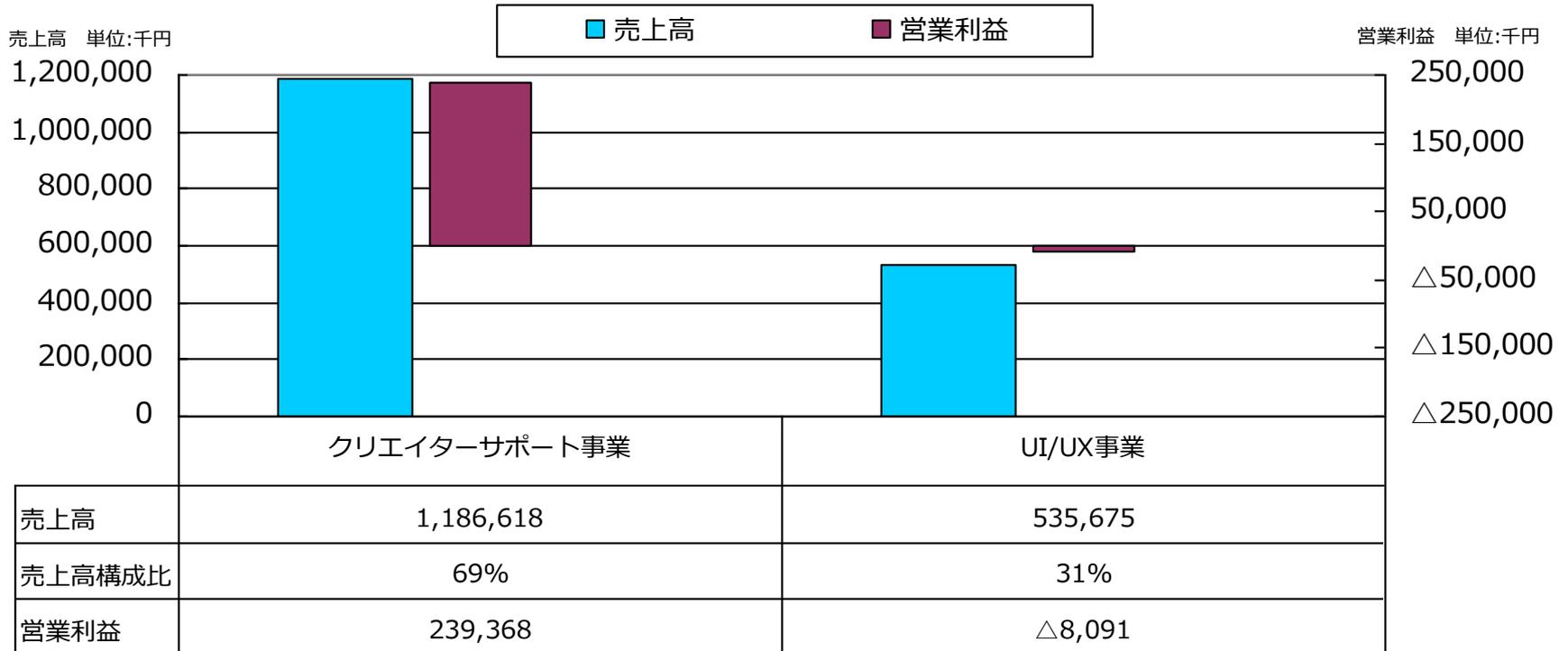
単位：千円

	前連結会計年度末 (2016年12月末日)		当連結会計年度第2四半期末 (2017年6月末日)		
	金額	構成比	金額	構成比	前期末増減額
流動資産	2,542,140	68.7%	2,601,734	67.4%	59,594
固定資産	1,156,935	31.3%	1,260,425	32.6%	103,489
繰延資産	608	0.0%	—	—	△608
資産合計	3,699,684	100.0%	3,862,160	100.0%	162,475
流動負債	756,137	20.4%	659,353	17.1%	△96,784
固定負債	145,328	3.9%	196,558	5.1%	51,229
負債合計	901,466	24.4%	855,912	22.2%	△45,554
純資産合計	2,798,218	75.6%	3,006,247	77.8%	208,029
負債・純資産合計	3,699,684	100.0%	3,862,160	100.0%	162,475

## ■ 主な増減の内容

- ・ 資産の部：売掛金の増加+114,168千円、仕掛品の増加+6,797千円、ソフトウェア仮勘定の増加+137,936千円、現金及び預金の減少-125,414千円、ソフトウェアの減少-72,587千円
- ・ 負債の部：長期借入金の増加+54,353千円、未払法人税等の増加+7,991千円、短期借入金の減少-116,690千円
- ・ 純資産の部：ストックオプション権利行使により資本金・資本剰余金の増加+4,423千円、四半期純利益計上により利益剰余金の増加+200,630千円

# 1-3.事業セグメント別損益の状況



※当第1四半期連結累計期間より、従来の「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めました。

- 売上高
  - ・クリエイターサポート事業が9.6%増加、UI/UX事業は孫会社株式の売却の影響により54.4%減少
- 営業損益
  - ・クリエイターサポート事業が61.4%増加、UI/UX事業は売上高の減少により営業損失となる

## 2-1. クリエイターサポート事業

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2016年 12月期 第2四半期	2017年 12月期 第2四半期	前年同期比	2016年12月期 通期
売上高	1,082,218	1,186,618	9.6%	2,130,372
営業損益	148,348	239,368	61.4%	195,914

※当第1四半期連結累計期間より、従来の「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めました。本資料につきましては、変更後の区分に組替えた数値で比較しております。

### ■業績の概要

売上高では、対前年同期で104,399千円の増加となり、営業利益では、対前年同期で91,020千円の増加となりました

### ■トピックス (2017年4月～6月)

- ・「CLIP STUDIO PAINT」がWindows 10 を搭載したペン入力対応デバイスとホイール型デバイスのSurface Dial に最適化
- ・「CLIP STUDIO PAINT DEBUT」をバンドルした、サードウェーブデジノス製の筆圧ペンつき8インチWindows タブレット「raytrektab DG-D08IWP」が、全国の量販店及びECサイトにて発売

## 2-2.UI/UX事業

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2016年 12月期 第2四半期	2017年 12月期 第2四半期	前年同期比	2016年12月期 通期
売上高	1,174,587	535,675	△54.4%	1,705,480
営業損益	301,041	△8,091	—	280,666

### ■業績の概要

・売上高では、対前年同期638,912千円減少となり、営業損益では、8,091千円の営業損失となりました

なお、本セグメントの前第2四半期連結累計期間の売上高1,174,587千円につきましては、前第3四半期累計期間に株式を売却した孫会社株式会社エイチアイ関西の売上高275,903千円が含まれております

このため、既存会社の売上高比較では、363,009千円（前年同期比40.4%減）の減少となります

### ■トピックス（2017年4月～6月）

・UIオーサリングソフトウェア群「exbeans UI Conductor」を始めとする自社IP製品の開発と販売に注力

・ルネサスエレクトロニクス株式会社のアライアンスパートナープログラムに引き続き加盟、本年度は昨年の協業活動実績を認められ「ゴールドパートナー」に認定される

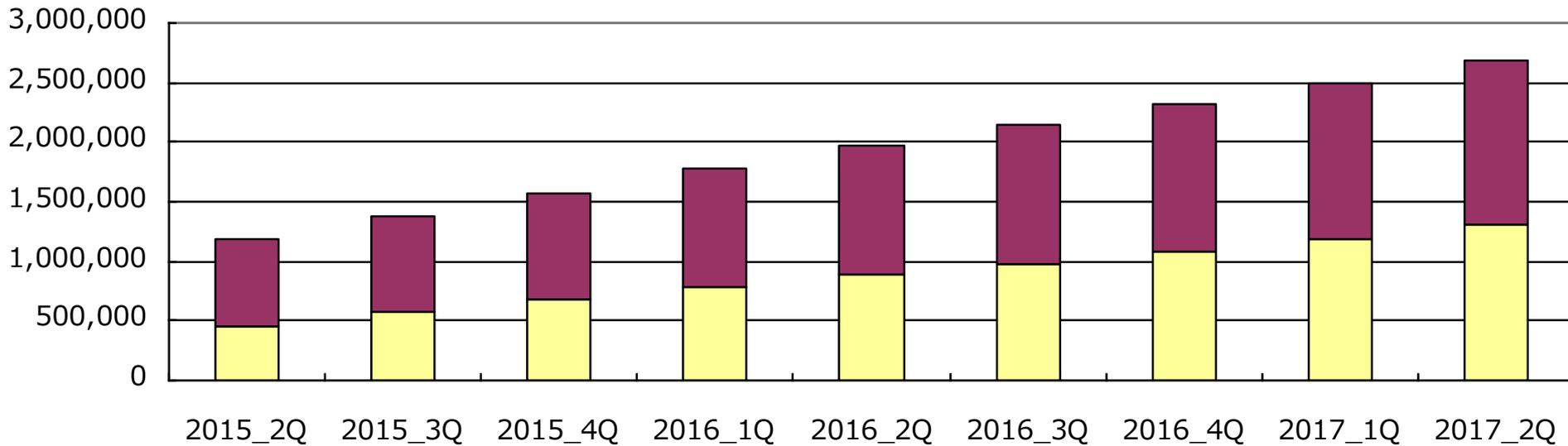
## 3.2017年12月期の主要施策

- 1.ソフトウェアIPを核とした経営に重点
- 2.引き続き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力
- 3.CLIP STUDIOの開発・提供を継続し、グローバル展開を加速
- 4.CLIP STUDIOプラットフォームを活用したコンテンツ制作・流通・再生にまつわるサービスの提供
- 5.自動車を中心とした様々な組込み機器向けにノウハウを集中、ビジネスを強かに推進  
(自社IP製品：UI Conductor、Affinity、VI Transfer等)
- 6.UX向上のための高品質で先進的なUIのデザイン・企画・コンサルティングの提供

### 3-3.CLIP STUDIOグローバル展開を加速

「CLIP STUDIO PAINT」言語別累計出荷状況

■ 他言語 ■ 日本語



- ・「CLIP STUDIO PAINT」は2013年9月から英語版、繁体字版、2014年7月からフランス語版、スペイン語版、2016年5月から韓国語版をリリースし、多言語に対応
- ・BCN AWARD 2017受賞、3年連続でグラフィックスソフト部門のNo.1メーカーに
- ・「CLIP STUDIO PAINT」の累計出荷本数が全世界で250万本を突破
- ・創作応援サイト「CLIP STUDIO」の登録者数は87万人を突破 (6月末時点)

## 3-4.CLIP STUDIOプラットフォームを活用

クリエイターに必要な”すべて”をつなぐ

ソフトウェア

プロセス

環境

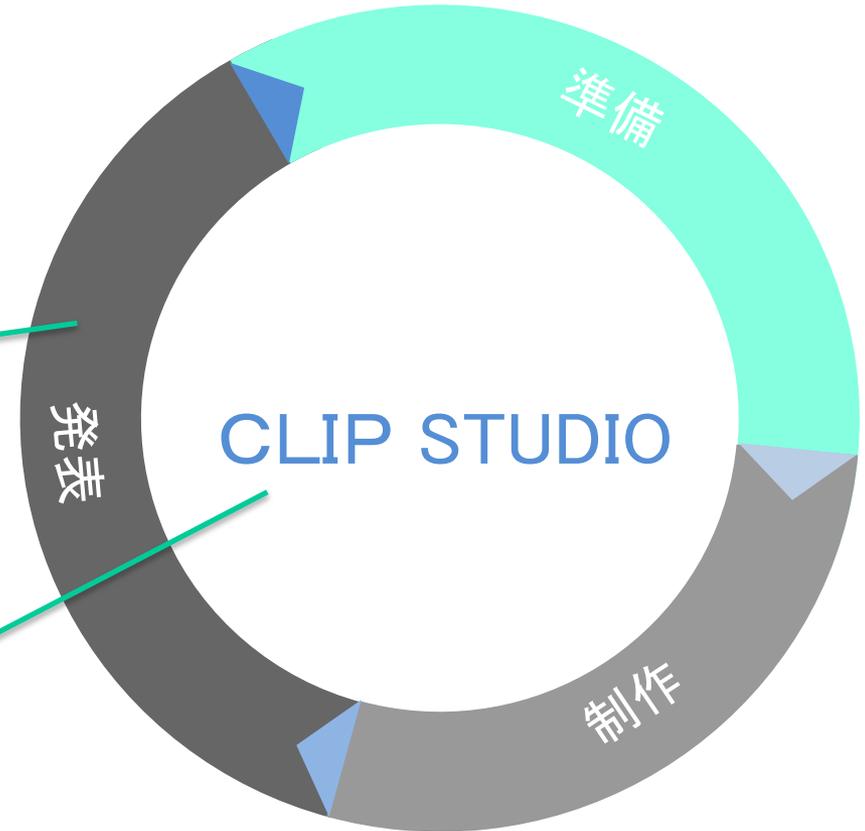
サービス

人

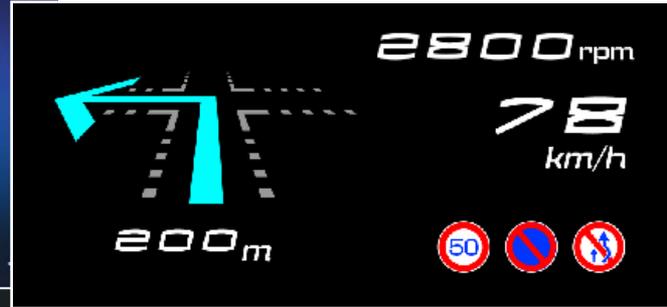
情報・コンテンツ

2D・3D・電子書籍で培った  
ノウハウの融合により、  
クリエイターに新たな価値を提供

全世界・マルチデバイス等  
でユーザーを拡大



## 3-5.exbeans UI Conductor (エックスビーンズ ユーアイ コンダクター)



### 組込HMIを開発するための統合的なソフトウェア群

ツール上で素材配置、インタラクション設定、アニメーション設定をオーサリングした、プロジェクトデータを実装環境上で量産開発することができます。

市場ニーズに応じ、随時バージョンアップを行っており、最新バージョンでは、3D機能の強化とマルチプレビューの対応等の新機能を追加し、UI / UX開発の効率化に貢献できるソフトウェアになっております。

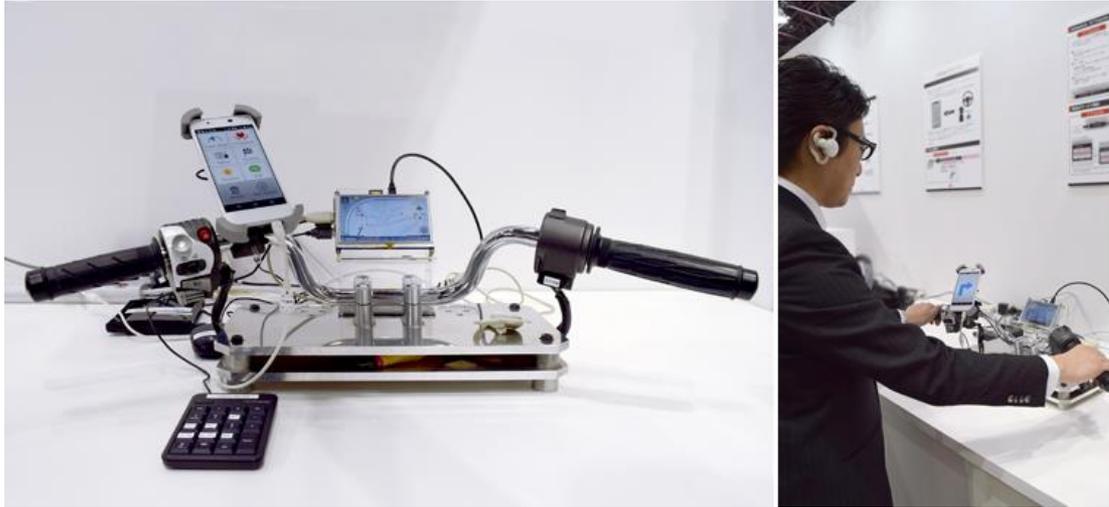
## 3-5. exbeans Affinity (エクスビーンズ アフィニティ)



## Webアプリケーションプラットフォーム

テレマティクスサービス（自動車等に携帯電話等を利用してサービスを提供すること）を始めとした様々なサービスを実現するための汎用ライブラリであり、また柔軟なサービスアプリ開発に耐えられるコアライブラリです。Webアプリケーションプラットフォームとして利用することで、容易に情報配信や更新、情報収集が可能です。

## 3-5. exbeans VI Transfer (エックスビーンズバイアイトランスファ)



※イメージ写真になります。(実際の装備はワイヤレス)



## 新たに提供した車両情報伝達ソフトウェア

二輪、四輪をはじめとする車両から得られる情報（CAN情報）を、アプリケーションへ伝達する汎用モジュールであり、アプリケーション側は、取得した情報を利用したサービスを提供することができます。前出の「exbeans Affinity」と組み合わせることで、Affinity上で構築したWebサービスを利用することができます。



本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2017年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。